

3

2020
Mar.

轉て 教ぎょう



信のとびら

ご奉公者の心得

3月のご奉公のすすめ

3月のお寺の行事予定

1月のご奉公日誌

成人式・寒参詣ほか

日晨上人の思い出 久野信友師

今年度のご奉公テーマ「助行のすすめ」

お助行の体験 安藤照志師

私のよろこび

孫やひ孫に囲まれて

家族の支えで

後続者育成活動報告

こどもたちの会

今を大切にすれば

苦は乗り越えられる



佛立本旨講妙應寺

モデル マロンちゃん
(水魚会・神野悦子さん)

ご奉公者の心得



日蓮聖人は「異体同心なれば万事を成じ、同体異心なれば諸事叶ふことなし。(中略)

で最も大切な心得は異体同心であると教えてくださっています。

で、宗門問題の影響などではなくなり、平穩無事な環境で御奉公にいそしめるようになり

一人の心なれども二つの心あれば其心たがひて成ずる事なし。百人千人なれども一つ心なれば必ず事を成ず。(中略)

宗門の問題に端を発して日尚上人の御教導に従い、我々は新たに佛立本旨講を創立しました。白金仮道場、上大崎、千代田区四番町、本駒込と所

は変わっても、異体同心を旨として教講一丸となつてこれまでの御奉公の歩みを進めることができました。お陰さま

日蓮が人類は異体同心なれば人すくなく候へども大事を成じて、一定法華経ひろまりなんと覚え候」と仰せられ、私たちの御奉公環境を整える上

は変わっても、異体同心を旨として教講一丸となつてこれまでの御奉公の歩みを進めることができました。お陰さま

異体同心について昔の寓話「手と足の喧嘩」という話があるので紹介します。「足が手に向かって言いま

した。手には手の役割があり、足には足の役があるはずだ。それぞれに役目をつとめるから助けになるのに、このごろ手は無礼な態度を取って、一日歩きくたびれて休んでいる足の膝の上に手を置いて休息させてくれないじゃないか。これからは、膝に手を置かないでほしい」すると手が言います。「自分は上に付いているからといって、別に足を卑いやしめてこき使っているわけではありません。足が蚊に刺されればかいてあげるし足袋たびを履はかせることもあるでしょ

う。あまり自分がしたことだけを主張するものではありませんよ」すると足は「それなら糞ふんでも踏んで手に洗わせてやる」と言い出したのです。それを手が引き止めて「一時の怒りで手を困らせようとして却って自分を汚す、それは体全体の恥はじでしょう。手の恥は足の恥、足の恥は手の恥、自分のことだけ考えずに助けて合って生きる道を考えましょう」とたしなめたというお話です。

常講歎読滅罪抄には、「異

体同心と口にのみ言いて、我慢つよく同破のこと」と示されていきます。我々信者一人一人が、お寺全体の手であり足でもあるのです。手と足のように、人の悪口を言いあつたり、噂話うわさばなしに乗つかったりしないよう心がけたいものです。人の悪口に同調しながら、自分を批判されると不愉快になる、というのが人間の心というものです。ご奉公者は、いつも異体同心の絆を深め、弘通ご奉公に励ませていただきましょう。

3月のご奉公のすすめ

今年度のご奉公テーマ「助行」

4月からの新年度ご奉公テーマは「教化」となります。令和二年の教区役中は、後続のご奉公者を連れて定例助行を続け、ご回向パンフレットを読み聞か

せるなどして、ひとりでも多くの方にご回向の志が伝わるようにご奉公させて頂きましよう。

今月の「随喜轉教」

「随喜轉教」のご奉公は、お助行をしあい何度も顔を合わせるところに、信心の喜びを自然に伝えることができるようになり

ます。班内教区内信徒が応援祈願し合える間柄になれるものです。皆が互いに支え合える喜びを家族にも伝えましょう。

三月の「ご奉公のポイント」

一、開講本旨再興日尚上人御祥

月法要・佛立本旨講創立記

念式典

4月19日(日)10時より本堂にて

開講本旨再興日尚上人御祥月法要・佛立本旨講創立記念式典が

奉修されます。その後バスで六角堂に移動し12時半より日尚上人御靈廟で奉告式を行います。

一人でも多く参加して日尚上人に夫々の一年の歩みを親しく奉告させてもらいましょう。

一人でも多く参加して日尚上人に夫々の一年の歩みを親しく奉告させてもらいましょう。

二、立教開宗記念5時間口唱会

4月26日(日)9時半から14時半まで、5時間口唱会を行います。

今から七百六十八年前の4月28日、日蓮聖人は清澄山旭が森で御題目を唱え、「立教開宗」を宣言されました。一人でも多く将引しお祖師様の御意をお偲びしましょう。

三、高祖大士御尊像お綿はずし

お綿はずしは4月中旬くらいまでに済ませてください。家族にも手伝ってもらおうなどして次世代の方にも敬いの心を伝えましょう。おかつう布は3月初旬までに弘通部までお申し込み下さい。

3月の寺内予定

日 程	行 事	時 刻
1日～7日	開講本旨再興祈願朝参詣週間	
1日	☀ 開講本旨再興祈願総講	10時半
6日	金 春季彼岸御塔婆・御回向、バス締切	
7日	⊕ 運営会議	9時半
8日	☀ れんげまつり（高祖大士御命日総講に併修）	10時半
14日	⊕ 連合幹事会	9時半
	後続者育成連絡会	10時半
15日	☀ 聞信寺団参バス締切	
17日	火 春季彼岸朝参詣週間（～23日） 開導聖人御命日総講	10時半
20日	金 春季彼岸総回向法要 同上（六角堂）	10時 12時半
22日	☀ 口唱会 9:30(第3地区、弘通部) 若い人の口唱会	9時半 10時半
25日	水 門祖聖人御命日総講 正副教区長会 第一地区2階ホール、第二地区1階ホール、第三地区和室	10時半 12時半
28日	⊕ 事務局御講	10時
29日	☀ 団参・聞信寺（静岡）門祖会（担当第一地区）	

「ご回向を班員さんにお薦めしやすい」と好評のパンフレット、フォルダーとご回向記入用紙の3点セット。この度、ブーメラパンフレットの新版が出来上がりました。

— 中面にご回向によるご利益が漫画で分かり易く書かれています。是非、ご活用ください。

新しいご回向パンフレット 活用のすすめ

ご先祖のご回向をすると、
フーメランのように、幸せが戻ってきます



A4サイズ三つ折りの新パンフレット

妙應寺も白金仮本堂から二十歳

成人式が行われました

1月26日(日)に行われた成人式には、3名の新成人の方がお参詣され、6名の方が無事成人の御礼言上をされました。

左に、御導師よりのご祝辞を掲載いたします。

成人者の皆さん、ご家族の皆さん、本日は誠におめでとございませぬ。

処がお寺のあった場所か明確には分からないほど変わっております。

先日、御講参詣に向かう途中で港区の白金を通過しました。以前お寺のあった場所は開発されて高層ビルが建ちならび、何

たのは平成11年頃のことです。今から20年前、皆さんが産まれた頃になります。

佛立本旨講はさまざまな困難を乗り越えて今日に至ります

が、何故佛立本旨講が創設されたかは本日お渡しした寂光の道するべに書いてありますので是非読んでいただきたいと思ひます。この本堂も一朝一夕に出来たものではありません。多くの信者さんの御奉公、艱難辛苦かたんしんくを乗り越えた結果として授かった物です。

今日皆さんは成人式を迎え、これから社会人として生きて行く訳ですが、知らず知らず、御両親をはじめ周囲の様々な方々に支えられて育てられてきた訳です。今があることを当たり前と思わず、感謝する心を持ってこれからの歩みをすすめていただきたいと思います。

① 和室での記念パーティで記念撮影

② 本堂での御看経

③ 新成人からの誓いの言葉

④ 和気あいあいのゲーム



恒例の寒参詣 が行われました 1月6日㊤～2月5日㊤

「孫と来て口唱する声 ご利益だ」 (長野教区Tさん、寒参詣促進標語より)

とが来ました。
 公者により無事終了するこ
 とが出来ました。
 特に、高齢者のご信者さ
 んは、新型肺炎に負けずお
 参詣頂きました。寒参詣で
 培ったお寺参詣をこれから
 のご奉公に生かすよう、よ
 るしくお願いいたします。

この一ヶ月、多くのご奉
 公者により無事終了するこ
 とが出来ました。
 特に、高齢者のご信者さ
 んは、新型肺炎に負けずお
 参詣頂きました。寒参詣で
 培ったお寺参詣をこれから
 のご奉公に生かすよう、よ
 るしくお願いいたします。

2月5日最終日でご挨拶
 事務局長山本久男さん
 お子さんやお孫さんと家族
 そろって御参詣させて頂き
 ましょう。(写真下右)

1月6日初日のご挨拶
 第一地区地区長岩淵千尋さん
 令和2年、元号が変わり
 初めての寒参詣が始まりま
 した。
 これから益々寒くなつて
 来ます。日曜日には暖かく
 美味しいおうどんの御供養
 が用意されます。楽しみに、
 お子さんやお孫さんと家族
 そろって御参詣させて頂き
 ましょう。(写真下右)



令和二年一月行事報告

元旦	水	元旦会 初御看経を午前6時30分より奉修
1日～7日		開講本旨再興祈願 朝参詣週間
3日	金	初総講を午前10時30分より奉修・祝杯式を開催 教講初顔合わせを午後12時30分より開催
4日	㊤	運営会議を午前9時30分より開催 事務局長候補者選考会を午前10時30分より開催 成人式申込締切
5日	㊤	教講御奉公始め(御奉公成就総言上) 日教上人御祥月御塔婆申込締切
6日	月	寒参詣開始 勤行午前7時(御法門午前7時45分)
11日	㊤	連合幹事を午前9時30分より開催 後継者育成連絡会を午前10時30分より開催
13日	月	開講記念総講を午前10時30分より奉修 高祖大士御命日総講に併修 授級褒賞「彰功の記」授与式
17日	金	日教上人御祥月法要を午前10時30分より奉修 開導聖人御命日総講に併修
19日	㊤	口唱会を午前9時30分より奉修(担当文教部・第一地区・財務) 若い人の口唱会を午前10時30分より奉修
25日	㊤	門祖聖人御命日総講を午前10時30分より奉修 正副教区長会を午後12時30分より開催
26日	㊤	成人式を午前11時より奉修、引き続き祝賀会を開催
31日	金	佛立本旨講初灯明料奉納締切 初御供米料奉納締切 寒供養奉納締切

事教院六角堂行事

元旦	火	初御看経・霊堂御看経を午前10時より奉修
6日	㊤	寒参詣開始

いつもニコニコされていた

日晨上人の思い出



日晨上人「ある角度から」1巻(左)～10巻

日晨上人は、どなたに対しても同じ様に何時もニコニコと笑顔で優しく声を掛けて下さる方でした。又一度でも日晨上人とお話しなされた方でしたら、類稀な記憶力とあらゆる面に通達なされた知恵とご弘通に対する限りない情熱に驚かされたことでしょう。私は在家の頃お寺の事務局でご奉公させて頂く機会があり日晨上人からお言葉を

掛けて頂けとても幸せだったと思っています。又日晨上人が心を込めてご執筆なされた「ある角度から(十巻)」は信者として忘れてはならない手引書ですが、世間の人々に対する処世訓が余すところなく綴られた人生読本でもあり日晨上人のお人柄を偲ぶ事が出来る名著であります。

一方日晨上人が晩年日尚上人にご住職のご奉公を譲られ世田谷の法宅にお戻りになられた時、事務局参事が長年のご教導の御礼に伺いました。日晨上人との歓談の中で私共信者には一週間に二日(土日)の休日がありますが、それでも時々朝の看経を怠けたりお寺参詣を休んだりして終います。日晨上人は

生涯全くお休みの日がなくても何時も笑顔でご奉公なされていらっしゃいましたが、どうすればその様な心になれるでしょうかとお尋ねした所、日晨上人は即座に私だつて若い頃は、今日一日休ませて貰おうかなと思つた事もありましたよ、でも懺悔して改良しながら進めば誰でも楽しく続けられる様になりますよと、何時もの様に笑顔で私達の心に合わせて答えて下さったお言葉は今もハッキリ記憶に残っています。

(久野信友師)



日晨上人の思い出話、思い出のお写真などをお寄せください。今年8月の三十七回忌法要に向かって準備を進めております。

一級授級のよろこび

Sさん(多摩教区)

まだ実感が沸かず怖いぐらいですが、初心に戻って頑張りま
す。お教化の実績は娘ですが、
母親として当たり前の事と思い

ます。頂いた賞は娘の笑顔と思
っております。本当に恐れ多い
ことなので、これ以下にならな
いように気を付けます。

大阪第四親会場開設で伸びる

ご仏通の最前線

Kさん(大阪教区)

23年前、岡山親会場以来の2
度目の親会場のご奉公をさせて
頂きます。当時は、所属信徒は
私達だけの1軒でした。お参詣
者の家族の病が治らなければ、
この先、岡山教区は出来ないと思
い、無我夢中で朝参詣を2時
間、昼休みを使い2時間のお助
行など、2週間ご奉公させて頂

きました。病気全快の現証利益
から、一緒に朝参詣し、ご利益
を頂いたご信者さんと一緒に岡
山教区が立ち上がりました。

大阪第四親会場の場所を歴史
的な目で見ますと、法華宗・仏
立宗の先師聖人、先輩信者さん
が現証利益で上行所伝のお題目
を弘めていたことが確認されま
す。日隆聖人の法華宗尼崎の本

興寺へは30分、日扇聖人がご入
滅された守口市の義天寺へは15
分、半径2キロの中に仏立宗の
お寺が3つ有ります。

以信得入を繰り返し読み、ど
うすれば以信得入のような現証
利益を頂けるのか。日々のご奉
公から一つ一つ体験すること
で、困っている人を上行所伝の
お題目で助けたいです。今年で
60歳になりますが、先のことは
気にせずにご奉公を最優先し、
仕事でしっかりと稼ぎながら、
よくご有志も行い、よく寝て、
よく食べて、多少の遊びもあり、
今を充実して、ご奉公させて頂
きます。

孫やひ孫に囲まれて

入間教区 Yさん



令和元年11月16日、名古屋教区の特別御講が奉修されました。母のSさんが席主です。母は、私の妹夫婦と三人暮らしです。妹夫婦が開業していたレストランを閉店し、売りに出していました。売却に数年掛かりましたが、特別御講の一月前に売却することができました。

母は九十七歳ですので、引越しすることで体力気力が落ちて元気が無くなってしまうのではない心配でした。その為、母が気に入る新居を孫たちが母を連れて探しました。母の要望は、御宝前の間があること、お参詣される方がお参りしやすい広さがあることでした。ご祈願のお陰で、条件の合う物件が見つかりました。さらに日当たりも最高。一階でバリアフリーのマンションです。このお計らいを頂けたのは、いつも皆の幸せを願い、ひ孫まで信行相続出来たごほうびとしてご法様が下さったのだと思います。母はご信心を続けてきて本当に良かったと感謝しております。

引越しを区切りに孫の二人が、母と妹二人へ感謝の気持ち伝えようと、それぞれに、感謝状と手作りの金メダルを渡してくれました。また、今までのレストランの様子や生活をスライドで上映し孫の夫がDVDを作成してプレゼントをしてくださいました。母は新居で元気な姿でも元気で若返ったようでした。そして、私は、世界一幸せですと言っております。

また、妹の夫、Mさんは皆様の前で、今日まで全てがスムーズに運んだのは、ご法様のお陰です。と言ってくれたのがとても嬉しかったです。これからも母を中心に、信心第一、家族の絆を深め名古屋教区がワンチームとなり、ご弘通が発展していくことを心より願っています。

私のよろこび

家族の支えで

本日は甲お講を奉修して頂き、また、父の五十回忌を言上していただきましてありがとうございます。父は岡山で興行師をしており、お相撲の興行をしたり、映画を上映したりしておりました。母が病気になる、昔のことですから霊媒師れいばいしを呼んで一ヶ月も病氣全快を祈ってもらいましたが、よくなりました。その霊媒師が申すには、私が祈っても良くならないので、私も佛立宗に改宗するから、こちらのお宅もそうなさいと言うので、父母姉達と熱心な信者になりました。私も八十九歳となりましたが、週二回デイサービス

目黒教区 Iさん
スに通っています。特に健康にも問題もなく、子供達三人が
若い絆をより強く
温かい目で見守られた若い人の口唱会が活発に
四番町仮道場時代に第二地区の若手信徒が自発的に始めた若い人の口唱会。今年に入って、御導師自ら力をいれて奉修されるようになりました。
糠谷信章師は「70歳にもなると、SNSにしてもなかなか若い人の中に入ってゆくのは難しいものです。しかし、随歡師ら若手の御講師方と力をあわせて盛り上げていてもらいたいです」と語っておられました。



皆良くしてくれるので、自宅でゆっくり過ごすことが出来ています。このご信心に感謝して生涯現役でご奉公させていただきます。うと思っております。

お助行の体験

安藤照志師



私が四十歳頃のご奉公です

が、堅信会のお役を頂きました。

その当時の堅信会お講は毎月

二十人位のお参詣でした。お講

席充実発展の為、話し合ったす

え、お講席で各自の仕事の話を

してもらおう事になりました。話

を聞くと、のり問屋に勤める方、

鉄工業や不動産業、お餅屋さ

ん、会社員の方等、色々な職種

の方々がおられることがわかり

ました。毎月のお講席が楽しみ

になりお互いの気心が知れて親

しみが増し、お席が盛り上がっ

ていったと記憶しています。

また、堅信会では会員増加の

お助行をする事になりました。

そんな中で思い出に残るお助行

の話です。奥さんはご奉公な

さつていますがご主人は一度も

お講参詣されたことがありませ

ん。数回自宅に何うと仕事が多

しいからと断られました。根

気よく三回四回と伺ったある

日、土曜日ならお参りしますと

約束が出来、始めてお講参詣な

さいました。しばらくして奥さ

んに会いご主人がお参りしてく

れた事、皆で喜んだことを伝え

ますと、ただお参詣しただけな

のにそんなに喜んでくれるなら

毎月お参詣させてもらうと言っ

てくれました。

実際その後もお参詣は続きまし

た。そして何年かして静岡に転

勤になり静岡のお寺でご奉公さ

せて頂くようになりました。今

では、子供さんお孫さん皆で妙

應寺でご奉公されています。

■来年度のご奉公は「お教化」

すでにご披露のように、次号

より「お教化」についてを連載

いたします。

皆さんが「お教化」のご奉公

をすすめる上で参考になるよう

な貴重な体験談などをこの場で

お伝えして行きます。

「復活を願って」

練馬教区 海老原富美子

長年、後続者育成委員として

ご奉公してくださっているKさんが、二ヶ月間、足の痛みの為

お寺参詣すら出来なくなっていました。何とかご奉公復帰して頂きたい思いで、お助行席を受けて頂きました。

当日の朝、ご自身で、五時からブリ大根を煮たり、杏仁豆腐を作ったりして、待っていてくださいました。10キロもやせて、食欲も無くなり、動くこともままならない状態はつらかった様子でした。しかし、皆さんで応援のお看経を頂いて、食事でも勢でしたから、顔色もよくなりました。

最期には疲れた様子でしたが、翌日電話では、声も力強

くなり、食欲が出てクリームシチューを作ったとおしゃっていました。今後の早期ご奉公復帰を祈願させて頂きます。



大井大森教区Tさん

ひ孫さんの初参り



法鼓のご奉公者の育成にご尽力いただいているTさんのひ孫さんのRちゃんが去る12月8

日に初参りに妙應寺にお参詣。抱っこしているのは、お姉さんのYさん。

Sさんは「御参詣出来て嬉しい、家族にも信行相続のきつかけになりますように、本人の無事養育成長を願います」と喜びを語っておられます。



★こどもたちの会★

いま たいせつ く の こ
「今を大切にすれば苦を乗り越えられる」

⑥

なので、心の持ち方によって、苦しみを軽くできるんです!!

わあ!! お兄さん!

そうなの?

ありがとうございます! お元気にしてますか?

ありがとうございます。① 年を取ると病や先々の不安ばかりだね。

⑦

思い通りにならない事は考えないで、まずは魚まわっている点に目を向けて感謝しましょう!!

たしかに そうね!!

私も仕事や人間関係などで、不安ばかりです。

② 若くても不安はあるだね。

⑧

生まれ来て良かった~!!

③ 生まれている間には...

もあれば、生老病死という苦しみに耐えなければならぬ時もあります。

と思える幸福な時と生きている間は、生老病死という苦しみに耐えなければならぬ時もあります。

来ると仰せです。

まけば幸い、悪い種をまけば苦かやうて

⑨

今、ありがとうございます! という感謝の気持ちで暮らしましょう!!

先の不安を魚の心で落ち込んで暮らすより、

④ 日常生活で感じる多くの苦しみに、

あんな事言わなければ良かった...

この先どうなるのかな...

病気になるらうどうしよう...

難や病気に嘆いて暮らすより、

⑩

その気持ちと笑顔で過ごす事が、良い種まきになるのです。

本当に そうね!

ありがとうございます。

⑤ という失敗への後悔などが主なものでしょう。

つまり病気や死への恐れ以外は、自分の心の中から作り出される苦しみです。

献花のすすめ

御宝前を美しく荘厳に飾る四季折々の花。ご信者のみなさんからの「献花」で支えられています。

法華経法師品第十には、仏前供養として華を供養することによって、大福徳だいふくとくを頂く事が出来ると説かれています。

みなさんで上げさせて頂きましょう。



轉教

令和2年3月1日発行 第22巻第3号 通算241号
編集兼発行人 山本久男
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11
TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



info@myooji.com

題 字：水谷日尚上人